

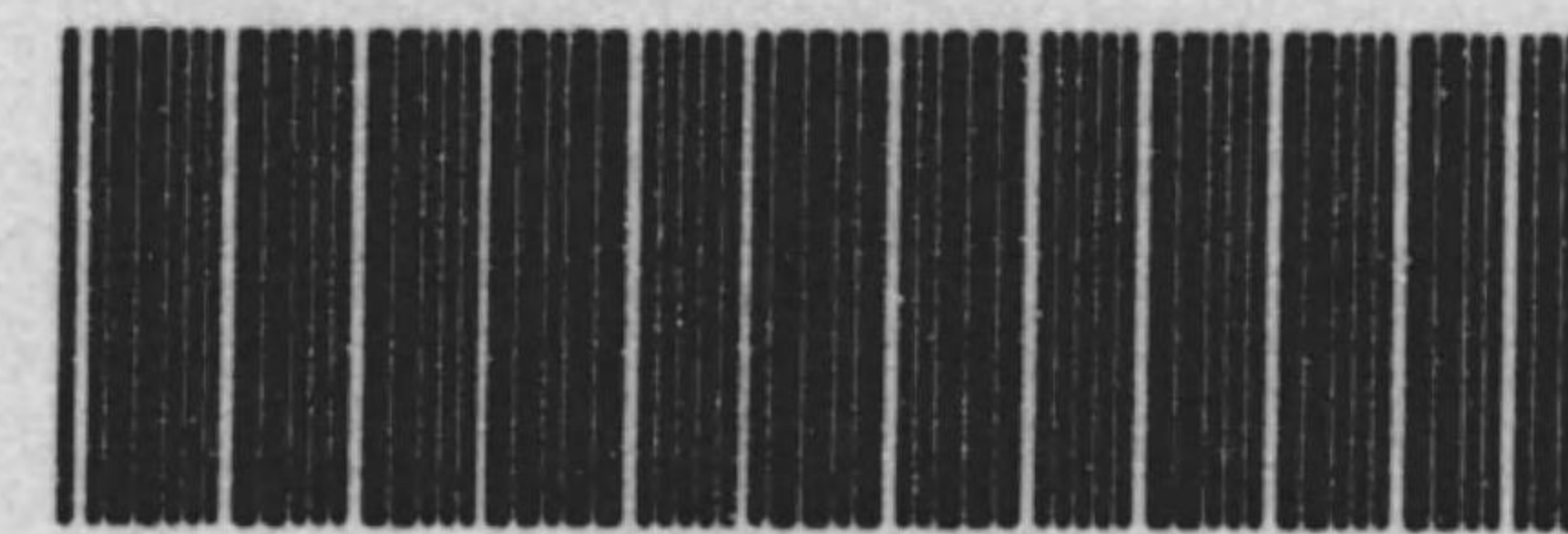
兵士水兵と帝国主義戦争

(反戦リーフレット 才2冊)

国立国会図書館

特501

926



\*0003723000\*

0003723-000

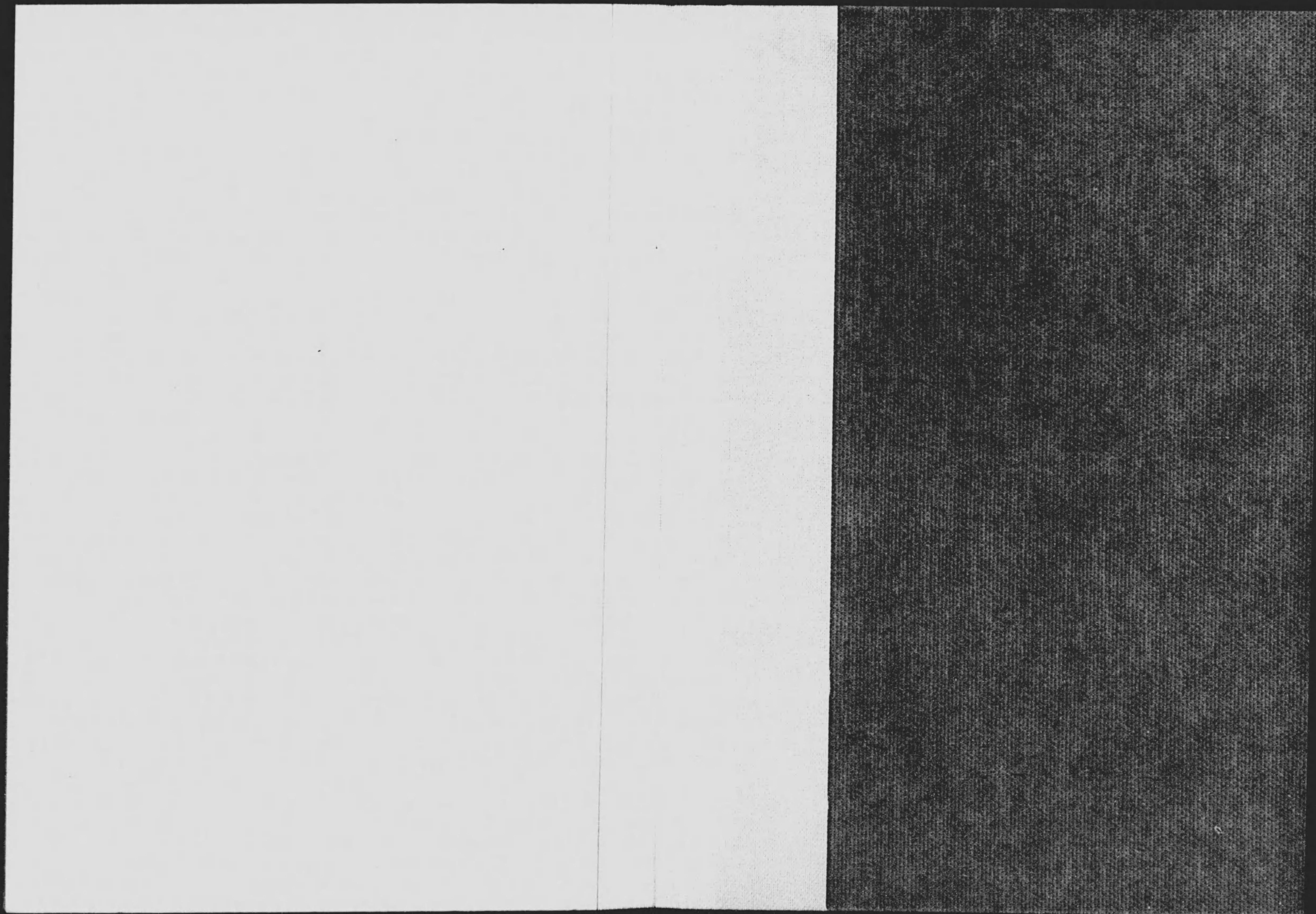
特501-926

兵士水兵と帝国主義戦争

日本共産党中央委員会アチプロ部

昭和7. 7

ABA



129

反戦リーフレット第二輯  
一九三二年七月二十日發行

【定價一錢】

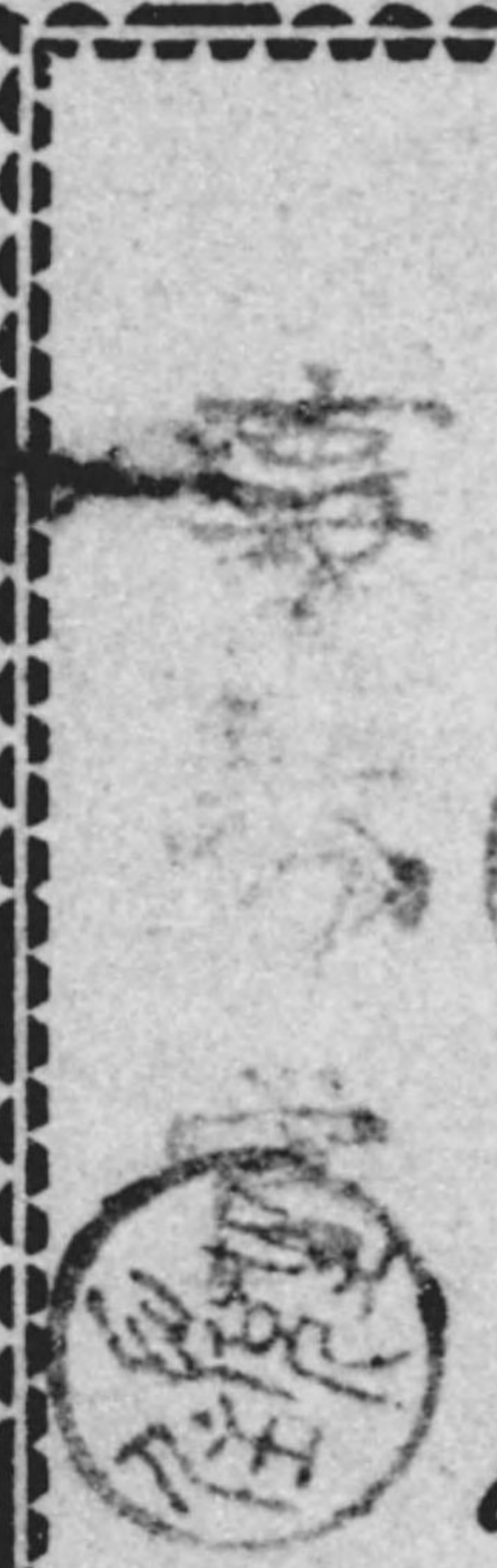
# 兵士水兵と帝國主義戰爭

8.24

日本共産黨中央委員會了子プロ部

日本共産黨中央委員會了子プロ部

持上り可也



特501  
926

1933年10月11日



80W20214

第四回の國際反戦デーは間近に迫つた。この日全世界の幾百萬の勤勞者は、帝國主義戦争反對、中國の分割反對、ソヴェート同盟と中國の擁護の斷乎たる意志を示すために到る處に立ち上るであらう。

一九二八年の國際共產黨第六回大會で國際反戦デーの設置が決定されて以來、毎年八月一日は、ブルジョアジーとその手先、ファシスト、社會ファシスト共の戦争政策に對する強力な國際的抗議の日となつた。特に、國際帝國主義者の東支鐵道襲撃の直後に行はれた一九二九年の第一回國際反戦デーが、未曾有

の反動の下にあつて巨大な反戦の示威によつて闘はれブルジョアジーをしてその挑戦を一時斷念させるに至つたことは顯著な事實である。

今年一九三二年の國際反戦デーは、以前の三回に比し比較にならぬ程の切迫した、情勢の下に迎えられる。過去一年の間に二つの體制——興隆しつゝある社會主義と死滅しつゝある資本主義——は全く相反した方向に、しかも未曾有のテンポで發展した。世界恐慌の層の深化は、資本主義の一切の内外矛盾をこの上なく強めた。對外的には帝國主義列強の間の勢力の均衡は全く破壊され（イギリスの後退、フランス、日本の進出、賠償問題の

破綻、等)、對内的には階級對立が激化し、革命的昂揚の波は不均等ではあるが全世界に發展しつつある。(スペイン革命、中國、印度革命の進展、ポーランド、ドイツに於ける革命的危機の前提の成熟、ポーランド、チエツコ、中歐、等に於けるストライキ運動の形大な波日本に於ける革命的昂揚)かやうな情勢の下にあつて日本帝國主義を先鋒に帝國主義列強はその活路を戦争に求めた。日本帝國主義が着手した中國の武力分割は、世界の武力的再分割のための戦争の端緒的段階である世界の常國主義者(アメリカも含めて)がお互ひ同志の激烈な對立にも拘らず、一樣に、瀝東の戦争に期待をかけ、この戦争から世界等、帝國主義強國相互の間の戦争の危険も著しく切迫してゐる。一切の者が一切の者に對して武装してゐる。

戦争は現實に開始した。それは資本主義の安定が將に終りつゝあることを語つてゐる。第一次の世界大戰が終つてから十四年目に、世界は再び新しい、より大規模な世界虐殺戰の前に立たされてゐるのだ。諸國の社會ファシストはブルジョアジーの委託を受けて、平和主義的言辭によつて戦争の準備を隠蔽して「戦争への平和的移行」の目的に奉仕してゐる。だが事實は社會ファシスト共の虚偽とは正反對に、上記の如きが八月一日を前にする眞の情勢なのだ。

戦争を、先づ第一にソヴェート同盟に對する帝國主義列強の戦争を呼び起し、そこから儲けを得やうと望んでゐることは疑ひのないことだ。特に「ヨーロッパの憲兵」フランスとその屬國(ポーランド、チエツコ、ルーマニア、等)は日本の中國攻撃に最も積極的に參加し、日本に物質的支持を與へてゐる外に(日本に對する借款、極東への軍需品輸送)日本との密約に従つてソヴェート同盟を西方から攻撃するために武装してゐる。既にソヴェート同盟に對する挑戦の新しい波が開始した(トワルドスキー事件、ゾーメ事件、犬養事件、東支鐵道爆撃事件)同時に、太平洋問題賠償問題、等をめぐつて日米、佛米、英米、

二

だが最も重要な事實は、今年の反戰デーが戦争と饑饉に反對する全世界の勤勞者の強大な抗議の波の繼續として、偉大な革命的闘争のたゞ中に闘はれるであらうことだ。帝國主義者共は、戦争によつて恐慌からの活路を開かうとして、帝國主義戦争反對、中國の獨立の擁護とその分割反對、ソヴェート同盟の擁護のための全勤勞者の國際的闘争の形で「意外な」巨大な障害物に出會つた。軍部と野合した赤松を初めとする日本の社會ファシスト、ファシスト共は、「プロレタリアートの國際的統一戰線を形成することは不

可能だ」とわめき立てゝゐる。彼等は又「満洲戦争は民族戦争で、社会主義日本の建設のための戦争だ」などと吐かしてゐる。だが現実の國際的階級闘争の實踐は、奴等の卑劣な嘘の皮を剥いでゐる。プロレタリアートの國際連帯は事實であつて單なる理論ではない。史上の若干の事實に見よう。

一、周知の如くに、一九一七年のロシアの十月革命は、西歐のみならず、極東、そして又我が日本の革命運動に最大の影響を與へ、(米騒動、我が日本共産黨は實にロシア革命の直接的影響の下に生れたのだ)、そして第一次の革命の波の退潮の後にもソヴェート同盟はたゞそれが存在するといふだけで既に衰

本主義世界の勤勞者に最大の革命的鼓舞と支持を與へて來た。

二、だがロシアに於ける勝利せる革命も、國際プロレタリアートの支持に依らずには、成功することは出来なかつたであらう。國際プロレタリアートはソヴェート同盟を帝國主義の武力干渉から守つて來たし、現に守つてゐる。一九一八—二〇年に戦争と内亂の傷手から未だ恢復してゐない若いソヴェート權力が、日本、フランス、ポーランド、等の帝國主義軍隊と白衛軍との強大な敵を破砕し、驅逐した時、ドイツ、フランス、イギリス、ポーランドのプロレタリアートは干渉反對闘争の輝かしい例を示した。軍需品生産反對の抗

と云ふ金が日本の勞働者農民の苦しい懐からしぼりとられ、四千といふ死傷者が勞農大衆の間から出てゐる。戦争を名としての勞働強化や彈壓は、際限なく強まつてゐる。

それに、兵士の生活條件は内地でも戦地でも全くひどい。給料は内地では十八錢で今度の上海等では三十五錢だつた。内地の兵營の生活はまるで監獄と同じだ。「つわもの」と云ふフアツシヨ新聞の外には、ブル新聞でさへろくに讀ませず、通信を自由に受けとる事も出来ず、外界と遮断させられてゐる。おまけに「牛か馬のやうに演習でクタク」になつた體を使役(雜仕事)に使つて、ペンキ屋から大工、植木屋から土工のやうな仕事をやらせや

がる。勞働者だつて、これだけ働けば一圓五十錢や二圓は貰へるぞ」(赤旗七十七號××聯隊赤旗通信員)

上海でも、勿論、人間並みの生活は出来ぬ上海に出た宇都宮聯隊の調査によると、兵士たちは、荷上げ運搬、屍骸焼き、軍用道路工事、不寝番の歩哨、演習、銃劍掃除——それから戦争に追ひ使はれてゐる。梅干とラツキヨウが一個づつついた麥七分の食料が飯ゴウに軽く配られるだけなので、やり切れない兵士たちは鶏を強奪して食つてゐる。幹部は、白い飯を食ひ、家の中にゐるが、兵士は外套にくるまつて路上にゐる。そして兵士は「熱と汗が出て寒氣がする腹膜のやうな病氣」必

「一度はかゝる病氣」にやられる。へとく  
に疲れて歩哨に立つて居眠れば、軍法會議へ  
廻される。内地からの手紙はあけられ、新聞  
は押へて渡さない」。

八三%が、労働者、農民の出身である兵士  
が、この強盗戦争の本質にいつまでも盲目で  
居ることが出来ようか、また監獄一奴隷のや  
うな兵營戦地の生活に甘んじておられよう  
か。さうでないと言ふことは、この文章の始  
めに諸君に傳へた幾多の事實が示してゐる。  
兵士たちの不平不満は殆んど毎日のやうにあ  
る班長との喧嘩にも現はれてゐる。戦地にお  
ける反抗だけでなく、内地の兵營においても  
兵士は、日本共産黨の機關誌、赤旗をよみ、

ある軍艦では軍港新聞を發行して、

士官並の食事をさせろ！  
被服修理費を支給せよ！  
日本共産黨の旗の下に！

と活動してゐる。一例をあげれば即ち××軍  
港の水兵諸君は新聞「聳えるマスト」を發行  
し、次のやうな部分的要求を掲げて闘つてゐ  
る状態だ。

外出及び外出中の絶對自由を與へよ！  
補充交代に俺達の希望を入れろ！  
兵下士官の和服の自由を與へろ！  
士官に對する奴隷的服從絶對反對！  
讀書の自由、社會問題研究の自由を與へろ

信書檢閲絶對反對！

軍法會議、懲戒罪等軍人に對する特別處罰  
法を廢止せよ！

兵士に選舉權及び政治的集會への自由を與  
へよ！

海兵代表で軍艦生活管理のための海兵委員  
會を作れ！

海兵團、港務部、その他海軍諸學校に海兵  
代表委員會を作れ！

これらの要求は全く正しい。また、この外  
休暇を増せ、入營中、家族の生活を保證しろ  
と云ふことも要求されるべきだ。その他、水  
兵、兵士は、憲兵、警察等勞農彈壓の諸機關  
の武装解除、兵營制度廢止、在營年限の短縮

の要求等も部分的要求として叫ばれるべき  
だ。

だが、云ふまでもなく、これらの部分的要  
求だけでは、兵士は結局、ほんとに幸福にな  
り、自由になることは出来ない。ほんとに幸  
福になり、自由になるためには、天皇、資本  
家、地主を労働者、農民の支配にてんぶくし  
なければならぬ。

そのためには、軍隊内の兵士は、日本共産  
黨に指導される労働者、農民の革命運動と結  
合して、天皇を先頭とする資本家、地主の政  
府を打倒するために闘はねばならぬ。  
すでに、一九〇七年クロンシュタット軍港  
において、軍港ボチエームキンの水兵たちは

ロシア革命の先陣に立つて暴動を起した。また近くは一九三一年×月、英國の艦隊の水兵は、ストライキ、サボタージュで立ち上り、英國の支配階級をして恐怖せしめた。これらは、水兵、兵士は、革命的プロレタリアートの闘争を結合して革命のために立ち上らなくてはならぬことを教へてゐる歴史的教訓だ。

三

一體、今の日本の軍隊は、どんな役目をする機關かと云へば、支配階級が、労働者農民を抑圧し、資本主義國家間の闘争が反革命戦争をやる機關だ。侵略戦争で、支配階級が銃

なく、一切の植民地國までが運動に加はつてゐる。四月アメリカ大陸の十六の共産黨は極東戦争反對の共同の檄を發した。かやうな事實、戦争の勃發と同時にあらゆる國でこの戦争反對の闘争が開始されたといふ事實は史上未曾有の事である。この事の眞の意味を理解するには、一九一四——一八年の第一次世界大戦時には、帝國主義戦争に對する正しい政策を取つた者はたゞロシアのボルシェヴィキーのみであつたことを想へば充分である。運動の範圍の廣さと同時に、既に眞に効果的な反戦闘争の例も見られる。即ち極東への軍需品輸送の拒否の闘争が次第に増加してゐる。(マヂンゲン、ハンブルグ、ロンドン)

八  
を向けると云ふ相手は同じ労働者、農民だ。内亂、暴動で、支配階級が暴徒の名で虐殺せよと云ふ相手は自分と同じ仲間の労働者農民だ。自分の親、兄弟だ。天皇、資本家、地主が國家權力を持つてゐるところでは、軍隊はみんなかうした役割を持つてゐる。そして、軍隊内の士官と兵士との對立は、天皇、資本家、地主と労働者、農民の對立としておかれてゐる。

一月の月給、大將五百五十圓、大尉百四五十圓に對し、兵士は僅か五圓五十錢足らずだ。それに天皇の名による絶對奴隸的服従が營倉の威嚇の下に強ひられてゐる。かうした反動支配のための軍隊に對しては、これを革命に

だが戦争に對する最良の闘争方法は、各國のプロレタリアートが夫々自國のブルジョアに對する經濟的、政治的大衆闘争を強化しこれを革命化し、帝國主義戦争反對の闘争と結びつけることにある。この點でポーランドの三月十六日の全國的ゼネラル・ストライキ、チエツコ、鑛山労働者の全國的ゼネストは、直接戦争反對を目標としてゐるものではなかつたが、帝國主義者の背後をおびやかすに充分であつた。

ブルジョア、社會ファシスト指導者の戦争政策に答へて、各自國に於て革命を準備すること、これが今日各國の共産黨のとつてゐる。方針である。かやうな方針によつての



み、プロレタリアートは日本の天皇を初めとする国際帝國主義ブルジョアジーの犯罪計畫を阻止し得るのだ。今日の情勢の下ではソヴェート同盟のプロレタリアートの確固たる平和政策だけにたよることは許されない。

だがそれにも拘らず戦争が擴大し、西歐のプロレタリアートを直接に捲き込むならば、各國の共産黨はロシアのボルシェヴィキが通つた道に従つて、この戦争を内亂に轉化することにより、革命を遂行し、プロレタリアートの権力を樹立する道に進むであらう。

極東戦争は早くも全世界に革命的昂揚の波の深化をよび起した。各國に高まりつゝあるこの戦争反對の抗議の波は、この革命的昂揚

たのだ。朝鮮、印度、印度支那等にも革命運動は成長してゐる。資本主義安定の崩壊と共に新しい戦争と革命の循環期は来りつゝあるのだ。

一九三二年の反戦デーは、日本の強盜的攻撃に對する世界プロレタリアート、被搾取被抑壓大衆のかやうな聲高き抗議の一日となるであらう。

三

日本のプロレタリアート農民は國際的にこの上なく重大な責務を帯びてゐる。

「日本天皇制の打倒と、その廢墟の上に立つ労働者兵士水兵農民代表者ソヴェートを

の新たな要因である。他方極東戦争は全極東の革命運動を激化させた。具體的な事實を想ひ起さう。日本の精銳なる軍隊は、中國勤勞者の反抗（十九路軍）を前にして月餘も上海を陥れることが出来ず、國民黨の裏切によつて初めて上海を占領することか出来た。蔣介石の第四次赤軍討伐はみじめな敗北を受け、中國革命の赤軍は全線に互つて進出してゐる全支（滿洲を含めて）に反帝國主義、農業革命は深化し、パルチザン運動は未曾有の●揚を示してゐる。一言にして言へば日本帝國主義の強盜的中國攻撃は、中國民衆の側からの反帝國主義、反國民黨の革命的解放戦争を呼び起し、中國に於ける革命的危機の深化を助け

基礎とする革命的民主主義政府の樹立とは帝國主義的掠奪者の一切の軍事的計畫と豫想を挫折せしめ、疑ひもなく國際プロレタリア革命の新しい強力な波の開始として役立つであらう。かくの如き見透しは絶対に現實的である。「カーイー」誌社説「戦争と諸共産黨の任務」

かゝる見透しを眞に實現することこそ我が黨の任務である。事件の今後の發展は一にかゝつて我が黨にある。だがかゝる見透しを實現するためには我々は、廣汎な労働者農民大衆の不満を組織し、その闘争の先頭に立ち、これを戦争と天皇制に對する闘争に結合するために最大限の活動を展開せねばならぬ。我

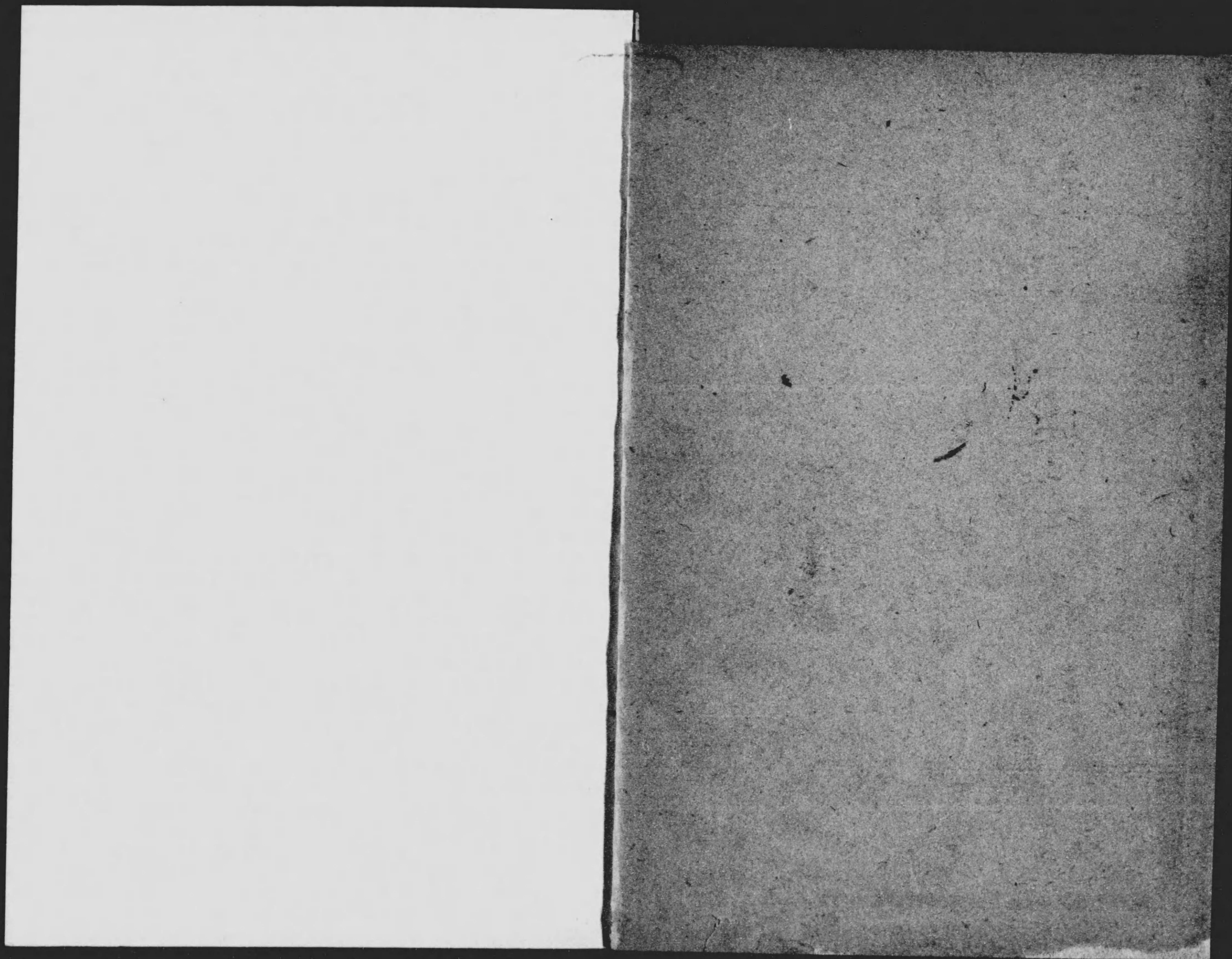
我々は日本帝國主義の強盜戦争に反対し、中國の完全な獨立のため、中國からの即時撤退、對ソヴェート干涉の阻止のために闘ふと共にこの戦争に於ける日本帝國主義の敗北のためこの戦争の内亂への轉化のための精力的闘争を通じて來るべき勞農革命へ準備せねばならぬ。我々は、帝國主義戦争と警察的天皇制反對、食と土地と自由のため、労働者農民の政府樹立のための人民革命の中心スローガンの下に幾百萬の大衆を結集しつゝ、闘争へ向つて前進せねばならぬ。

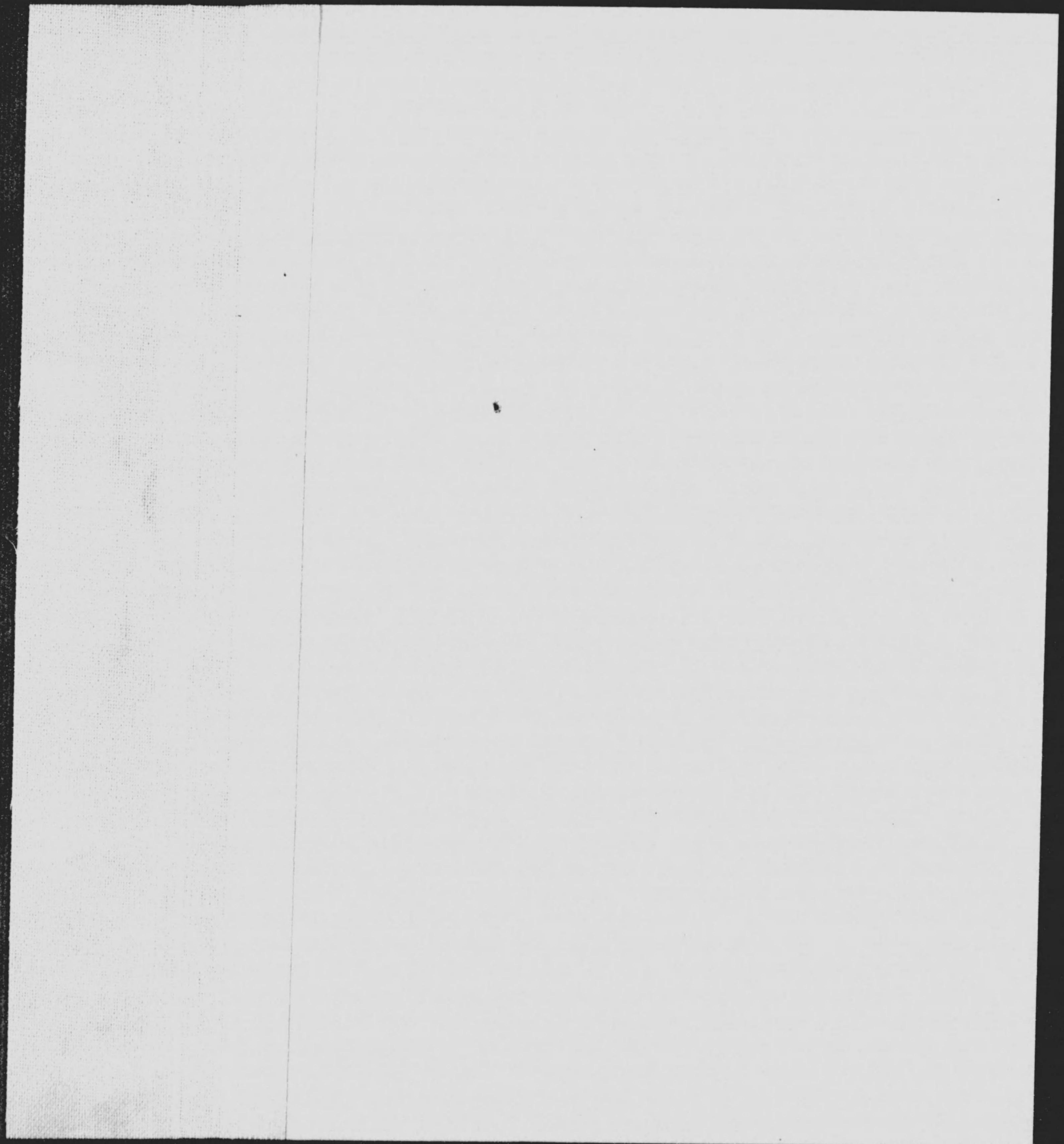
**帝國主義戦争反対！**

**中國の分割に反対し、中國の完全な**

獨立のために闘へ！  
 中國派遣軍の即時召還のために闘へ！

- 中國革命を護れ！
- ソヴェート同盟を護れ！
- 滿洲朝鮮●灣の完全なる獨立！
- 天皇制と帝國主義戦争との忠僕社會ファシストを倒せ！
- 帝國主義戦争を内亂へ！
- 軍事的警察的天皇制を倒せ！
- 労働者農民の政府を創れ！
- 日本共産黨の旗の下に結集せよ！





100

